

第38回 評議員会議事録 (H28.1.16)

評議員 (近畿) 中田 敦也

※下記の記載内容については、当日の配布資料及び説明者等の発言をメモ・記憶し、報告したものであり、全ての数字等の正確性が保証されているわけではないことを予め記す。

出席 68 名

1/3 を満たしたので成立

① 議題等

◆加盟証書 授与式

- 1 大阪府ユネスコ連絡協議会
- 2 伊豆ユネスコクラブ

◆議題

- 1 第37回評議員会議事要録 (案) の承認
- 2 2015年11月～12月の事業報告及び今後の日程 (案)
(日・中・韓 青年文化フェスティバルの報告)
- 3 組織・活動委員会からの報告
定款・諸規程部会からの報告
定款・諸規程に関する質疑応答
- 4 2016年度事業計画及び予算の骨子 (案)
- 5 書き損じハガキキャンペーンの実施について
- 6 プロジェクト未来遺産「グリーン・レガシー・ヒロシマ」活動紹介
- 7 その他
- 8 役員・評議員情報交換

② 会長挨拶 (松田会長)

新しい形のユネスコ (クラブ) が古典的なユネスコと違って、手を携えながらみんなで力を合わせてやっていこうという呼びかけがあり、うれしく思う。今こそユネスコが力を出さなければいけない。

ユネスコは縁の下の力持ち。違った国・違った人種をつないでいく役割を果たす。諦めることなく粘り強く。今年は粘り強く、活動を行っていくことが重要。しっかりとしたユネスコ運動を着実に行っていきたい。皆様よろしく申し上げます。

③ 第37回評議員会議事要録 (案) の承認

→ 承認

④ 2015年11月～12月の事業報告及び今後の日程（案）
（日・中・韓 青年文化フェスティバルの報告）

→ 日ユ事務局長より報告。

・世界遺産年報2016発行

・プロジェクト未来遺産2015→5プロジェクト決定

・日ユ事業報告のパワポ、

・HP上の会員のページからダウンロードできるようにする予定。

・1月19日以降にHP上からダウンロードできるようにしていく。

・昨年7月に開催された日・中・韓 青年文化フェスティバル in 北京の成果報告
山梨英和高校 ハギワラ ヒカリさんより報告。

フェスティバルの全体テーマ：「若者と持続可能な社会」

→ 学校別にサブテーマを設定し、日・中・韓の学校で議論

⑤ 組織・活動委員会からの報告

4つの部会 70周年ビジョン部会（加藤副会長）

組織運営部会（林理事）

定款諸規程部会（二瓶理事）

青年活動部会（松波理事）

※定款・諸規程部会からの報告

・「定款」変更案の主なポイント（二瓶部会長より）

・「会員に関する規程」改正案の主なポイント（林理事より）

⑥ 2016年度事業計画及び予算の骨子（案）

事務局織田さんより説明あり

事業計画・・・持続可能な社会の担い手づくりの一環として、青少年の育成等に係る活動を
継続して推進する。

予算・・・[青少年] 計 29,675,000

⑦ 書き損じハガキキャンペーンの実施について（電通）

・昨年 124万枚

→ 今年目標 130万枚

・日ユ協連ホームページへの誘引拡大を狙う

・企業向け：PRグッズ強化、DVD教材配布、チラシ・動画をHPからダウンロード可
能にする。

・各新聞への掲載

・タンス3兄弟を活用

⑧ プロジェクト未来遺産「グリーン・レガシー・ヒロシマ」活動紹介（動画7分）

（ナスリーン・アジミさん、渡部朋子）

・グリーン・レガシー・ヒロシマ（GLH）について

被爆樹木の種を世界に届け、被爆樹木の2世の木を世界で育てる活動を通じて、被爆樹木を守り、その存在と意味を広く知らせ、世界中に希望・平和・共生のメッセージを正しく伝えていくことを目標として活動している。2011に活動を開始し、27の国に種を届けている。

※被爆樹木

広島原爆の爆心地（1945年8月6日）からおよそ2キロ以内の約55か所にある約170国の樹木が、広島市により正式に「被爆樹木」として登録されている。

■所感

・日・中・韓青年文化フェスティバルについて

ハギワラさんの報告を聞いて、韓国や中国の学生の考えに触れられる貴重な体験ができたんだと感じた。国と国ではなく、学生同士だからこそ話ができる内容もあると思うので、こういったイベントへの青年の参加は継続していく必要があると感じた。

・今年度の事業計画及び予算の骨子案について

青少年活動について一定の予算確保がなされており、組織の高齢化が叫ばれる中で、青年活動への期待や注目度が高まってきていると感じられた。助成金等については、必要とする団体がニーズに応じて適宜、活用することができるよう、各ブロックの青年に対して継続して周知していくことが重要だと感じた。

以上